

F.Marinos Sports Club REPORT 2022



F·Marinos Sports Club

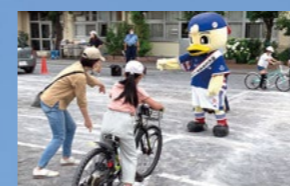


この街が、「100年先」も、 「夢」と「幸せ」に溢れる街であるために。

あらゆる人がスポーツで「夢」を追うことができる、
あらゆる人がスポーツで「幸せ」になれる地域社会へ。
この街のすべての人と、共に。

一般社団法人F・マリノススポーツクラブ

スポーツが持つ無限の可能性に挑戦し、 地域社会と共に「夢」と「幸せ」、そして「未来」を創出する。



スポーツで繋がる、創る

スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来創造のエンジンに
スポーツを、レクリエーションや競技としてだけでなく、人と人を繋ぎこの街の未来を創るエンジンに。
よりよい地域社会を創るために、あらゆるテーマで、多くの仲間と。
F・マリノススポーツクラブは全ての人と、スポーツのチカラでこの街の未来を創ります。



あらゆる人に、スポーツを

あらゆる人がスポーツを楽しみ、夢を追うことができる環境・機会を創出し、
地域社会をスポーツでもっと幸せに

誰もがスポーツを楽しむことができ、誰もがスポーツで夢を追いかけられる。そんな街になるように、
F・マリノススポーツクラブはこの街の皆さんと手を取り合って歩んでいきます。



この街から、世界へ

世界で活躍できる選手を育成し、子供たちと地域社会に夢と未来を
この街の子供たちと共に無限の可能性を追求し、子供たちに世界への夢と未来を。
世界中でプレーされているサッカーだからこそ見ることが出来る夢と未来を、この街の皆さんと一緒に追いかけます。



スポーツで繋がる、創る



スポーツのチカラで人と人を繋ぎ、地域社会の未来創造のエンジンに

スポーツには、チカラがあります。人と人を繋ぎ、人の心を動かすチカラがあります。そのチカラで、この街で困っている人を助けることはできないか。この街に楽しいことをもっと増やすことはできないか。一人ではできないことも、沢山の仲間となら実現できる。スポーツを、レクリエーションや競技としてだけでなく、人と人を繋ぎこの街の未来を創るエンジンに。よりよい地域社会を創るために、あらゆるテーマで、多くの仲間と、F・マリノススポーツクラブは全ての人と、スポーツのチカラでこの街の未来を創ります。

ホームタウントリコロール化

ホームタウンをトリコロールに染めることで、街に彩りと活気を創出します。

商店街フラッグ

商店街のご協力のもと、街路灯にF・マリノスのフラッグを掲げていただいています。



小机歩道壁装飾



F・マリノス通り(新横浜2丁目)



F・マリノス通り(新横浜2丁目)



久里浜F・マリノス通り



JR新横浜駅



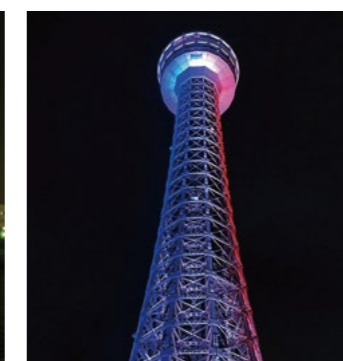
新横浜駅北口駅前 ペDESTリアンデッキ



ライトアップ 記念艦 三笠



マリンタワー



コスモクロック21



ホームタウンの活性に向けて

ホームタウンの人々に“夢”と“活力”をもたらす存在になるために、行政や様々な団体と地域活性に繋がる活動を行っています。

横須賀市 全市一斉防犯キャンペーン



ふるさと港北ふれあいまつり



宮市亮選手 一日港北区長



みどりスポーツフェスティバル2022



よこすか産業フェス



よこすかスポーツフェスタ2022



海上自衛隊創設70周年記念 国際観艦式2022 横須賀パレード



港北オンラインラジオ体操



横浜マラソン2022



日産CUP争奪第48回神奈川県少年少女サッカー選手権



久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定を締結

2023年1月より、横浜F・マリノスの新たな練習場「F・Marinos Sports Park ~Tricolore Base Kurihama~」の一部供用開始にあたり、久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりを進めることを目的に、横須賀市、横浜マリノス株式会社、一般社団法人F・マリノススポーツクラブ、東日本旅客鉄道株式会社、京浜急行電鉄株式会社が「久里浜地区のスポーツを核としたまちづくりに関する五者連携基本協定」を締結しました。



ともにスポーツで久里浜をいい街に



住みやすい街にするために

ホームタウンにおける課題解決に向けて、地域の皆さんと一緒に取り組み、より良い街を目指します。

久里浜商店街清掃活動



弘明寺商店街清掃活動



横浜市 みんなのケータイリサイクル!



美しい海を守るために

海洋プラスチックごみの削減に向けて、スポーツクラブならではの取り組みを進めています。

SHIBA-Up (企業版ふるさと納税事業)

人工芝のごみを新たなスポーツ用品へとアップサイクルする事業を行っています。



LEADS TO THE OCEAN 海につづくプロジェクト

海洋ごみの多くは街からのごみ。海にごみを行かせないためにスタジアムでのごみ拾い活動を行っています。



スポーツ中の心臓突然死をなくすために

救える命を、ひとつでも増やすために、ホームタウン各所やスタジアムでAED・CPR(心肺蘇生法)の啓発活動「#命つなぐアクション」を行っています。また、日産スタジアムのホームゲームでは、AEDと救護セットを携行したスタッフがスタジアム内を巡回しています。

#命つなぐアクション



交通事故をなくすために

2021年の神奈川県内での交通事故による死者数は142人を数え、全国の都道府県で史上初めて最多を記録しました。悲しい交通事故から子どもたちを守るために、交通安全教室やランドセルカバーの配布など、交通安全のための活動を行っています。

港北区新一年生ランドセルカバー&反射シール贈呈
港北区内26校、約3,000名の新一年生にランドセルカバーと反射シールを贈呈。



はまっ子交通あんぜん教室



小机幼稚園交通安全教室



啓発活動

ホームタウンの行政や団体が実施する活動の広報・啓発に様々な形で協力しています。

マリノスケと一緒に学ぶ! 人権クイズ正しいSNSの使い方



ねんりんピックかながわ2022



赤い羽根共同募金



横浜F・マリノスと献血を応援!! キャンペーン



F・マリノス SDGs

難しいイメージのあるSDGsについて、まずは気軽に参加してみて楽しく理解を深めていくことを目的に「F・マリノス SDGs FES 2022」を10/8ガンバ大阪戦で開催しました。



横浜 F・マリノスは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています



子供たちに“夢”を

巡回授業やイベントを通して、未来ある子どもたちに「夢を持つことの素晴らしさ」を伝える活動を行っています。

新羽中 職業講話 ホームタウンの中学校・高校を対象に「働く」ことの意義や目的をF・マリノスでの仕事の内容を交えて伝えています。



早瀬中学校 食育講習会 ホームタウンの中学校を対象に正しい食習慣、年齢に応じた好ましい食生活に関する知識を伝えています。



F・マリノスプロジェクト(みたけ台小学校)
小学6年生を対象に「F・マリノスがもつとホームタウンの人に好きになってもらえるクラブになる計画」をテーマに授業を実施しました。



復興応援活動

東日本大震災等で繋がりができた地域や、災害に巻き込まれた地域を応援する活動を継続的に実施しています。

岩手県山田町訪問／7月24日(日)～7月25日(月)



I ☆ YOKOHAMA SERIES オンライン学校訪問

横浜F・マリノス、横浜DeNAベイスターズの本拠地である中区と港北区の小学6年生約950名を対象に「夢の実現」をテーマにオンライン授業を実施しました。



喜田選手 母校の北方小学校訪問



日産スタジアムツアー



チカラをひとつに。「JリーグTEAM AS ONE募金」



宮城県東松島市訪問／8月6日(土)～8月7日(日)



ホームゲーム招待／8月13日(土) 山田町・東松島市のサッカー少年・少女、総勢42名をホームゲームへご招待



あらゆる人に、スポーツを



あらゆる人がスポーツを楽しみ、夢を追うことができる環境・機会を創出し、地域社会をスポーツでもっと幸せに

時には、感動と興奮を。時には、身体を動かす爽快感を。そして時には、共に楽しむ仲間を。世代・性別・国籍・障がいの有無。あらゆる垣根を越えて、すべての人の毎日にポジティブな彩りを与えてくれるもの、それがスポーツです。誰もがスポーツを楽しむことができ、誰もがスポーツで夢を追いかけることができる。そんな街になるように、F・マリノススポーツクラブはこの街の皆さんと手を取り合って歩んでいきます。よりよい地域社会を創るために、あらゆるテーマで、多くの仲間と、F・マリノススポーツクラブは全ての人と、スポーツのチカラでこの街の未来を創ります。

共生社会の実現へ

障がいのある方もスポーツを通じて身体を動かすことの大切さや、楽しさを知ってもらうために「運動(サッカー)教室」を実施しています。

横浜F・マリノスフットボールクラブ Jリーグ初の「知的障がい者サッカーチーム」として2004年に発足。約100名が在籍し、楽しむ、技術を習得するだけでなく、サッカーを通じて時間を守る、挨拶をするなど社会人としての成長を目指しています。



横浜F・マリノスフットボールクラブ親子サッカー交流会 小学生と保護者を対象にしたサッカー教室に、フットボールクラブの選手がスタッフとして参加しました。

ふあんたいむ 知的・発達に障がいのある小学生を対象としたサッカー教室を定期的に実施しています。



電動車椅子サッカー大会 電動車椅子サッカーの魅力を広げると共に、地域社会の障がいスポーツに対する理解度、関心度の向上を目的に2002年より大会を開催しています。



電動車椅子サッカー体験会



都筑区ポッチャ動画 『特別な道具が無くてもできる手作りポッチャ!!』動画



障がいのある方が誰でも、サッカーを楽しめる環境を目指し、身体を動かす楽しさを知ってもらい、身体を動かす習慣を身につけてもらうようホームタウンの各種支援学校に訪問してサッカー教室を開催しています。その他にも、トリコロールマーメイズによるチア教室や、健常者や地域の方々と一緒に楽しめるインクルーシブイベントなども実施しています。

横浜市立浦舟特別支援学校サッカー教室

若葉台特別支援学校サッカー教室



横須賀ろう特別支援学校サッカー教室

横須賀市立養護学校サッカー教室



ふれあいサッカープロジェクト

Womanサッカー 平日の午前中を中心に、女性を対象とした教室を定期的開催しています。



エンジョイフットボール 成人の方を対象に定期的に活動。運動の機会を増やし、身体を動かす楽しさや仲間と汗を流す場を提供しています。



ランニングクラブ ホームタウンを中心に定期的(2回以上/月)に身体を動かすことを目的に約10キロのコースをランニングしています。



大和市親子ふれあいサッカー教室



横浜F・マリノスDAYin大和ゆりの森



スポーツだいすき!(大和市出前講座)



鴨居中学校「和(なご)みルーム」スポーツタイム



サッカー食育キャラバン

ホームタウンの小学校の体育の授業でボールを使った運動教室(サッカー)の実施と「食」の大切さを伝えます。



横須賀市巡回スポーツ教室

「企業版ふるさと納税」の制度による企業からの寄附金を原資にスポーツ教室の開催と併せて、学校のスポーツ環境向上に寄与するアイテムを寄贈しました。



ふれあい活動実績 | 「ふれあい」の数だけ、この街に笑顔が増えていく。

「ふれあいサッカープロジェクト」では、老若男女や障がいの有無に拘わらず、誰もが気軽にサッカーを楽しめる環境創りを目指し活動を行っています。

ふれあい活動 (2022年2月~2023年1月)	2022		累計	
	回数	人数	回数	人数
横浜市スポーツセンターサッカー教室	37	1,383	2,092	42,036
横須賀フットサル	58	1,070	829	14,590
サッカー教室(成人女性)	37	387	726	10,148
ENJOY(成人)	35	952	675	21,526
ランニングクラブ(成人)	26	386	166	3,736
サッカーキャラバン	281	20,245	4,994	426,808
食育・職業講話(中学生)	40	6,820	567	104,050
障がい者サッカー教室	25	262	110	3,329
その他(スポンサー教室・イベントなど)	31	1,458	610	26,049
フットワーク(活動回数・登録選手数)	59	107	703	—
合計	629	33,070	11,472	652,272



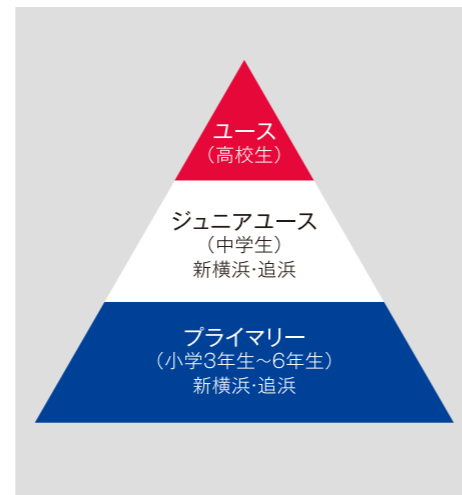
この街から、世界へ

世界で活躍できる選手を育成し、子どもたちと地域社会に夢と未来を

「世界で活躍できる選手を育てたい」この街で育ち、「トリコロールの誇り」を持った選手が、一人でも多く世界の舞台上で活躍する。それが、F・マリノススポーツクラブが実現したい未来。この街の子供たちと共に、この街で育った選手が世界を相手に戦うという夢を。世界中でプレーされているサッカーだからこそ見ることが出来る夢と未来を、この街の皆さんと一緒に追いかけていきます。

アカデミー

Jリーグ開幕以前の1986年に育成組織を設立し、数多くのプロサッカー選手を輩出してきました。将来性豊かなタレントを発掘し、約220名がプロを目指して活動しています。



主な年代別日本代表候補選手

- U-15 エルシャターブ プライツ海 ● U-16 山下将真、望月耕平、白須健斗 ● U-17 畑野優真、船木大輔、池田春汰
- U-18 松村晃助、内野航太郎 ● U-19 内野航太郎

世界で活躍できる選手を育てるために

アカデミーの選手一人一人が、将来の夢や目標に向かってチャレンジする姿勢を育てるために、キャリアデザインのサポートを実施しています。また、地域や周囲の人々への感謝の気持ちを込め、定期的に清掃活動を実施しています。

プレ・プロフェッショナル研修



活動地域の清掃活動



ブラインドサッカー体験会



プライマリー 在席人数[新横浜:31名][追浜:31名]



主な戦績

- 全国優勝 3回
- 世界大会 3位 1回
- 2022年 JA全農杯 全国小学生選抜サッカー選手権 3位

ジュニアユース 在席人数[新横浜:50名][追浜:54名]



主な戦績

- 全国優勝 9回
- 2022年 高円宮杯JFA全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会 ベスト16

ユース 在席人数[46名]



主な戦績

- 全国優勝 8回
- 2022年 ● 高円宮杯U18 プレミアリーグEAST 2位
- 日本クラブユースサッカー選手権(U-18)大会 準優勝

スクール理念

マリノスサッカースクールは、1985年日産サッカースクールとして発足し、創設30年を超える歴史あるサッカースクールとして、現在約2,800名の会員が在籍しています。スクール創設当初より「真のスポーツマン」を育てることを目的として「Players First」を大切に、幼児～中学生までの体力作り・サッカーの技術向上だけでなく、マナーや協調性、自主性を養い、心身の成長を促し、F・マリノスの一員として地域に貢献できる人材を育成しています。2018年度より、新たに大人クラスを開校し、生涯スポーツとして子どもたちだけでなく、大人もサッカーを楽しめる環境づくりをスタートしました。サッカーを通して地域に根ざした運営を行うことで、優秀な選手・人材を世界に輩出していくこと、サッカースクールに関わった全ての子どもたちの人生がスポーツを通して豊かに、そして社会に貢献できる人材を育成していくことを目指します。



スクール指導コンセプト

「サッカーを通して子どもたちの未来をつくる」を合言葉に、4つのコンセプト「Enjoy=楽しむ」「Aspiration=向上心」「Independent=自立」「Thinking=考える力」を大切にスタッフ一同、指導に当たっています。

Enjoy
楽しむ



Aspiration
向上心



Independent
自立



Thinking
考える力



北エリア	中央エリア	南エリア	大人
新吉田校 (横浜市港北区) [278名]	大和校 (大和市) [227名]	追浜校 (横須賀市) [287名]	会員数 [203名]
小机校 (横浜市港北区) [143名]	二俣川校 (横浜市旭区) [393名]	リーフスタジアム校 (横須賀市) [175名]	スペシャルクラス (選抜クラス)
東山田校 (横浜市都筑区) [326名]	Shunsuke Park校 (横浜市西区) [176名]	京急上大岡校 (横浜市港南区) [298名]	会員数 [158名]
中山テクニカル校 (横浜市緑区) [94名]			(2022年12月現在会員数: 2,808名)
ライフネット菅田校 (神奈川県) [50名]			

サステナブルオフィシャルスポンサー



サステナブル DX推進パートナー



株式会社IC

サステナブル ホームタウン Rethink パートナー



サステナブル スポーツテクノロジー & エンタテインメントパートナー



サステナブル 共生社会創造パートナー



サステナブル 復興応援パートナー



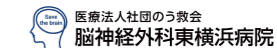
サステナブル グローバル 人材育成パートナー



サステナブル エデュテインメントパートナー



サステナブル メディカルサポートパートナー



賛助会員

龍松院 北川商事株式会社 株式会社横浜アーティスト 一般社団法人横浜サッカー協会 田中・石原・佐々木法律事務所 弁護士佐々木好一
イノテック株式会社 ヒトヒト株式会社 株式会社NKB Y's 日産スタジアム施設管理共同企業体 (ハリマビシステム・西田装美・協栄)
二ホンターフメンテナンス株式会社 株式会社ジェスコ 一般財団法人シティサポートよこすか ユニプレス株式会社 学校法人聖心学園 株式会社じゅうしん
株式会社フレックスホーム さくら不動産管理株式会社 QUEBRA VILLAGE 株式会社三好商会 株式会社プロント 株式会社ハーズ
Annexe R&D株式会社 曹洞宗大本山總持寺 キンコーズ・ジャパン株式会社 株式会社エヌディー・ヴィ 株式会社エス・アール企画
トリキューフードサービス株式会社 株式会社北斗 学校法人上白根学園 上白根幼稚園 有限会社NEOSYSTEM 株式会社三我 六甲バター株式会社



一般社団法人F・マリノススポーツクラブ

〒222-0033 横浜市港北区新横浜2-6-3 DSM新横浜ビル5F
TEL:045-285-0674 (地域連携本部)
FAX:045-285-0688
MAIL : yfm-hometown@marinos.co.jp
OFFICIAL WEB SITE <http://www.f-marinos-sportsclub.com/>

